

# **J-PARC/MLF利用者懇談会**

## **第8回(平成25年度第1回)総会**

**日時: 2014年3月19日(水)**  
**12:00~12:40**

**場所: つくば国際会議場エポカル**

# 次 第

1. 会長挨拶
2. 平成25年度活動報告
3. 会則・細則の変更
4. 平成25年度決算(見込み)報告
5. 第4期選挙結果の報告
6. 平成26年度活動計画
7. 平成26年度予算
8. 会員制度に関する意見交換
9. その他

# 1. 会長挨拶

(鳥養映子 山梨大学教授)

## **2. 平成25年度活動報告**

**(平成25年4月1日～平成26年3月19日)**

# ① 総括

- 幹事会, ならびに, 9分科会を組織して, J-PARC/MLFの中性子とミュオンを利用して研究を推進する研究者, 技術者が研究を促進するための活動を行った.
- 分科会活動: 中性子産業利用推進協議会の研究会やMLF・CROSS等と連携して, 研究会を開催している.
- 会員への情報提供サービス: J-PARC/MLFの運転状況に関する各種情報, 課題募集, 中性子ならびにミュオンによる研究成果, 各種会合・行事など62件の情報提供を行った.
- 会員交流サイト: ユーザー広場立上げ, アンケート活用  
<http://mlfusersoc.org/top/>
- 会員増強: 第3期で会員19名, 協賛企業1社増.  
現在会員数279名 協賛企業13社

## ② MLF利用者懇談会総会の開催

平成25年度第1回総会

日時：平成26年3月19日

## ③ MLF利用者懇談会幹事会の開催

平成25年度幹事会

4月23日, 12月27日, 3月19日

## ④ 分科会活動

平成25年度は下記のような分科会活動を実施済である。

### 1) 結晶解析・pdf分科会

平成25年7月31日 (於: 研究社英語センタービル)  
平成25年9月17日 (於: 研究社英語センタービル)  
平成25年10月4日 (於: 研究社英語センタービル)  
平成25年12月12日 (於: 研究社英語センタービル)  
平成26年3月7日 (於: 研究社英語センタービル)

### 2) 液体・非晶質分科会

平成25年3月17日 (於: 高エネルギー加速器研究機構 (KEK))

### 3) ソフトマター・反応分科会

平成25年9月6日 (於: 研究社英語センタービル)  
平成26年1月30日 (於: 研究社英語センタービル)  
平成26年2月24日 (於: 研究社英語センタービル)  
平成26年3月3日 (於: 研究社英語センタービル)  
平成26年3月4日 (於: エッサム本社こだまホール)  
平成26年3月14日 (於: エッサム神田ホール)

### 4) 生命物質分科会

平成25年10月9日 (於: エッサム神田ホール)  
平成26年3月17日 (於: 研究社英語センタービル)

### 5) 磁性・強相関分科会

平成25年12月20日 (於: 研究社英語センタービル)

### 6) 半導体分科会

平成26年1月17日 (於: エッサム神田ホール)

### 7) 電池材料分科会

平成25年12月2日 (於: 研究社英語センタービル)

### 8) 基礎物理・原子核分科会 (調整中)

### 9) 微量分析・非破壊検査分科会

平成25年11月5日 (於: 研究社英語センタービル)

## ⑤ 要望活動

(1) MLFの早期運転に関する要望書

平成25年8月20日、茨城県知事等宛

(2) CROSS東海事業センター長選考方法に関する  
要望書

平成26年2月17日、CROSS理事長宛

## ⑥ 会員へ情報配信サービス

J-PARC関係施設の建設状況やMLFの運転状況、ニュースやトピックスならびに課題募集、あるいは、各種会合などの開催案内など、中性子ならびにミュオンの利用に係る各種情報をメールサービスとして提供している。平成25年度は現在まで62件配信している。



# メールサービスの例

No.	年月日	タイトル
1	4月8日	開催案内 LPBMS 2013, 29-31 August, Tsukuba, Japan
2	4月25日	J-PARC News 第97号発行のお知らせ
3	4月30日	CROSS東海トライアルユース課題募集について
4	5月9日	中性子産業利用推進協議会平成25年度総会のご案内
5	5月9日	CROSS東海事業センター研究系職員の公募について
6	5月17日	2013B期 J-PARC物質・生命科学実験施設(MLF)実験課題公募のお知らせ
7	5月29日	J-PARC/MLFの状況について
8	5月30日	2013年後期MLF中性子・ミュオン実験課題公募×切延長のお知らせ
57	2月27日	液体・非晶質材料分科会ユーザーズ・ミーティング開催
58	2月27日	J-PARC News 第106号発行のお知らせ
59	3月6日	第2回J-PARCシンポジウムについて
60	3月6日	第2回Neutrons in Biology研究会の開催について
61	3月12日	CROS採用情報
62	3月12日	液体・非晶質材料分科会ユーザーズ・ミーティングにかかる 変更のご連絡

## ⑦ 行事の共催・協賛・後援

主催：物構研サイエンスフェスタ2013

MLFシンポジウム2013

平成26年3月18-19日@つくば国際会議場エポカル

第5回中性子小角散乱解析法研究会

～金属材料への適用に向けた産・学・官の取り組み～

平成26年3月3日@研究社英語センター会議室

共催：J-**PARC**シンポジウム(予定)

平成26年7月13-15日@つくば国際会議場エポカル

## ⑧ 会員の入退会状況について

区分	2011年 末	2012年 総会時	入会数	退会数	2014年 現在
会員	260名	265名	14名	0名	279名
協賛会員	12社	12社	1社	0社	13社

# 3. 会則・細則の変更

## 会則 第35条

会則・細則の変更は、幹事の3分の2以上が出席する幹事会の議決を経て、総会において、その可否を出席正会員の過半数で決定し、可否同数の場合は議長が決定する。ただし、総会は、第27条の規定に拘わらず、委任状によって意志を表示した正会員を含む 1/2の出席正会員により成立する。

## 第4章 会長、副会長、幹事

第15条 正会員の選挙により選ばれた**幹事5名**により、幹事会を構成する。

第16条 幹事5名は、互選により会長、副会長を選出する。

第17条 会長は、本会を代表し、会務を総括し、幹事会、および総会を招集する。

第18条 会長は、地域・分野のバランスや役割を考慮し、最大3名まで新たに幹事を加えることができる。

第19条 副会長は、会長を補佐する。

第20条 幹事は、本会の庶務、会計、行事、その他の業務を掌る。

第21条 幹事は互選により、事務局担当者を選出する。

第22条 会長、副会長を含む**幹事の任期は2年**とし、1回までの重任、ならびに、1期以上を空けての再任を妨げない。**ただし、幹事は1年毎に2名または3名改選とする。**

第23条 幹事の選出方法は選挙細則に従うものとする。

---

**毎年、幹事選挙を行う必要がある**

**⇔実施年：H19.11, H22.2, H23.1, H26.1**

-> 会員数及び予算規模に照らして毎年の選挙は負担が大きい。  
実態に合った会則の改定を提案

改訂方針：現実に見合ったマイナーな変更にとどめる。

## 現会則

選挙で選ばれる幹事5名の内、1年毎に2名または3名を改選する。

## 改訂案

2年毎に選挙で選ばれる幹事5名全員を改選する。

## 会則 第22条

会長、副会長を含む幹事の任期は2年とし、1回までの重任、  
ならびに、1期以上を空けての再任を妨げない。ただし、幹事  
は1年毎に2名または3名改選とする。

---

## 変更案

会長、副会長を含む幹事の任期は2年とし、1回までの重任、  
ならびに、1期以上を空けての再任を妨げない。ただし、幹事  
は2年毎に改選とする。

## 選挙細則 第4条(推薦)

幹事候補者は、**5名以上**の正会員から推薦された者と、幹事会が推薦する者とする。選挙管理委員会は、メールにより正会員に期日を設けて幹事候補者の推薦を依頼し、**5名以上**の正会員から推薦があった者を会員推薦幹事候補者とする。

---

## 変更案

幹事候補者は、**3名以上**の正会員から推薦された者と、幹事会が推薦する者とする。選挙管理委員会は、メールにより正会員に期日を設けて幹事候補者の推薦を依頼し、**3名以上**の正会員から推薦があった者を会員推薦幹事候補者とする。

## 選挙細則 第5条(投票)

投票に際しては、選挙管理委員会からのメールにより添付された投票様式を用いることとし、投票様式に記載された候補者リストの中から選挙管理委員会が指定する改選数(2名あるいは3名)までを選択して投票するものとする。指定された改選数を選択していない投票も有効とする。

---

## 変更案

投票に際しては、選挙管理委員会からのメールにより添付された投票様式を用いることとし、投票様式に記載された候補者リストの中から選挙管理委員会が指定する改選数(5名)までを選択して投票するものとする。指定された改選数を選択していない投票も有効とする。



## 選挙細則 第9条(当選者の認定)

選挙管理委員会は、開票の結果得票数の上位から**2名ある**  
**いは3名**を当選者と認定する。獲得投票数が同数の場合には  
同数のものをすべて同位とする。仮に、当選者数が**2名ある**  
**いは3名**を超えた場合には会長により当選者を認定し、投票  
数が同数で認定から洩れた者を次点者とする。選挙管理委  
員会は、認定した当選者を懇談会会員に告知する。

---

## 変更案

選挙管理委員会は、開票の結果得票数の上位から**5名**を当  
選者と認定する。獲得投票数が同数の場合には同数のもの  
をすべて同位とする。仮に、当選者数が**5名**を超えた場合に  
は会長により当選者を認定し、投票数が同数で認定から洩れ  
た者を次点者とする。選挙管理委員会は、認定した当選者を  
懇談会会員に告知する。

## 会則 第2条

本会の目的は、MLFにおけるユーザーが相互の交流をはかるとともに、各々の関心の分野の相違を超えて総意を形成することにより、より良い利用を推進し、その成果の発信をもって啓蒙活動を行うことである。

---

## 変更案

啓蒙 → 啓発

# 4. 平成25年度予算

科目	収入額	支出額	備考
収入			
H24年度繰越	732,198		
会費	520,000		260名x2,000
協賛会費	120,000		12社x10,000円
雑収入	0		
<b>収入合計</b>	<b>1,372,198</b>		
支出			
1. 事業費			
(1)総会		100,000	旅費100,000円
(2)分科会		620,000	100,000円x5分科会, 30,000円x4分科会
(3)その他		100,000	若手奨励賞費用
2. 管理費		20,000	サーバー代、切手代
3. 予備費		532,198	
<b>支出合計</b>		<b>1,372,198</b>	
次期繰越額		0	

# 平成25年度決算(見込み)

科目	収入額	支出額	備考
<b>収入</b>			
H24年度繰越	732,198		
会費	180,000		(今年度分)77名×2000円 (過年度、次年度分)13名×2,000円
協賛会費	80,000		8社×10,000円
雑収入	116		受取利息:116
<b>収入合計</b>	<b>992,304</b>		
<b>支出</b>			
1. 事業費			
(1)総会		78,000	総会お弁当代
(2)幹事会		156,380	幹事会旅費(4名分)
(3)分科会		358,902	研究会開催費(7回分)予定
(4)講習会/研修			
2. 管理費			
(1)通信費		5,000	レンタルサーバー代:5000
(2)振込手数料		1,985	幹事会旅費振込6件:1,470, レンタルサーバー代振込:315
(3)事務用品費		210	封筒代
3. 予備費		0	
<b>支出合計</b>		<b>600,477</b>	
<b>次期繰越額</b>		<b>391,827</b>	

# 5. 第4期幹事選挙結果について

第4期J-PARC/MLF利用者懇談会幹事選挙の結果を報告する。  
12月20日に締め切った結果、総投票数は48票であった。

1月8日に杉山正明選挙管理委員長，他5名の委員の立会いのもとで開票した結果，第4期の幹事の当選者は下記の方々となったので報告する。

杉山正明氏  
鳥養映子氏  
鳥飼直也氏  
林 眞琴氏  
福永俊晴氏  
【五十音順】

第4期J-PARC/MLF利用者懇談会選挙管理委員会  
委員長 杉山 正明  
委員一同

# **J-PARC/MLF利用者懇談会**

## **第9回(平成26年度第1回)総会**

**日時: 2014年3月19日(水)**  
**12:00~12:40**

**場所: つくば国際会議場エポカル**

# 第4期会長および幹事会

1. 3月19日に第4期幹事会を開催し、第4期の会長に鳥養映子(山梨大学)、副会長に福永俊晴(京都大学)を互選により決定した。

2. 会長指名により、奥隆之(J-PARCセンター)、河村成肇(J-PARCセンター)、大石一城(CROSS)の各氏が幹事に選任された。

3. 第4期の幹事会の体制は以下のとおり。

会長： 鳥養映子

副会長： 福永俊晴

庶務担当： 林真琴

会計担当： 河村成肇

行事担当： 杉山正明, 鳥飼直也

事務局担当： 奥隆之

広報担当： 大石一城

# **6. 平成26年度活動計画**

**(平成26年4月1日～平成27年3月31日)**



# 活動方針

第4期幹事会は、MLFによる成果の創出と将来計画に向けて  
ユーザーの総会員化を含む、会員制度・会費制度の全面的見直し  
を行い、改革後の制度を軌道に乗せることを第一義に置く。

## 1. 会員・会費制度の全面的見直しと改革の実行

平成26年度第2回総会(検討中)までに意見分布聴取, 提案.

## 2. MLFの研究成果に基づく分野を越えた新たな共同研究の創出や 利用促進: 関連機関(中性子産業利用推進協議会, 茨城県中性子 利用促進研究会, 総合科学研究機構), PF-UA等他の利用者組織 との連携強化による分科会活動の活性化と最適化(CROSSイベン トカレンダーの活用)

<http://www.cross-tokai.jp/ja/research/events/calendar.shtml>

## 3. J-PARCの将来計画(今後5年間、10年間)についての利用者の 要望をとりまとめ, 提言していく.

## 4. 懇談会会員交流サイト「ユーザー広場」の活用.

<http://mlfusersoc.org/top/>

# 7. 平成26年度予算(見込み)

科目	収入額	支出額	備考
収入			
H25年度繰越	391,827		
会費	558,000		279名x2,000
協賛会費	130,000		13社x10,000円
雑収入	0		
<b>収入合計</b>	<b>1,079,827</b>		
支出			
1. 事業費			
(1)総会		100,000	旅費100,000円
(2)分科会		620,000	100,000円x5分科会, 30,000円x4分科会
(3)その他		100,000	若手奨励賞費用
2. 管理費		20,000	サーバー代、切手代
3. 予備費		239,827	
<b>支出合計</b>		<b>1,079,827</b>	
次期繰越額		0	

# 利用者懇談会「ユーザー広場」

<http://www.mlfusersoc.org>

## 1. お知らせサイト:

幹事会からののお知らせやBLの最新情報, 最新成果発信

## 2. 利用ポータルサイト: MLFの歩き方

MLFの利用システムと情報に関して、このサイトを訪れて頂ければ目的の情報に容易にたどりつける道案内を目指します。また、サイト内に質問コーナーを設けて、探したい情報がない場合の受け付けとし、これを通してサイトを更に充実して行きます。

## 3. 教えて/お願いMLF:

MLFの利用に関して感じている疑問・要望を書きこんで下さい。

幹事会が直接, あるいは必要な回答者を探して, すばやく対応します。